総合保健体育科学センター弓道場	建物	1,454	—	1,454
事務局第４屋外運動場倉庫	建物	645	—	645
工学部・工学研究科冷却水循環ポンプ室	建物	143	—	143

④　回収可能サービス価額の算定方法

全ての施設及び設備について取り壊しが予定されていることから、回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しています。

２．翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定をした固定資産

①　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用　途	種　類	場　所
研究・教育施設	建物	共同教育研究施設１号館（愛知県名古屋市千種区不老町）
教育施設	建物	教育学部附属学校附属学校中央棟、１号館、２号館、器具庫（愛知県名古屋市千種区不老町）
研究施設	建物	理学部・理学研究科廃棄物倉庫、貯蔵庫、動物飼育室（無菌）、動物飼育室（昆虫）、ガラス室（愛知県名古屋市千種区不老町）

②　使用しなくなる日

場　所	種　類	使用しなくなる日
共同教育研究施設１号館	建物	平成25年６月
教育学部附属学校附属学校中央棟、１号館、２号館、器具庫	建物	平成25年６月
理学部・理学研究科廃棄物倉庫、貯蔵庫、動物飼育室（無菌）、動物飼育室（昆虫）、ガラス室	建物	平成25年11月

③　使用しないという決定を行った経緯及び理由

翌事業年度以降の特定の日以後、固定資産の全部又は一部につき改修工事等に伴い取り壊しが行われるため、使用しないという決定を行いました。

④　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

（単位：千円）

場　所	種　類	帳簿価額	回収可能サービス価額	減損額の見込額
共同教育研究施設１号館	建物	40,436	—	40,436
教育学部附属学校附属学校中央棟、１号館、２号館、器具庫	建物	23,295	—	23,295
理学部・理学研究科廃棄物倉庫、貯蔵庫、動物飼育室（無菌）、動物飼育室（昆虫）、ガラス室	建物	32,471	—	32,471

Ⅸ．資産除去債務関係

資産除去債務の主な内容は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（法律第104号　平成12年５月31日）」に基づく、当法人の主要な施設に係る建設資材の再資源化等に要する費用と、「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（法律第167号　昭和32年６月10日）」に基づく、放射性物質の除去等に要する費用です。

資産除去債務の見積りにあたり、使用見込期間は０年～47年、割引率は0.00％～2.30％を採用しています。

当事業年度における資産除去債務の残高の推移

期首残高	825,880千円
時の経過による調整額	13,087千円
資産除去債務の履行による減少	759千円
見積額の変更による減少額㈱	1,379千円
期末残高	836,828千円

㈱　契約上の原状回復義務に対する資産除去債務に関して、見直しを行ったことによる減少です。

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。

財務諸表は、千円未満を切り捨てて表示しています。

ただし、利益の処分に関する書類（案）は、円単位で表示しています。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	72,636,290	2,736,634	114,602	75,258,322	25,471,895	3,028,767	66,575	—	52,947	49,719,851	
	構築物	4,149,220	134,672	0	4,283,892	1,814,122	219,054	751	—	—	2,469,018	